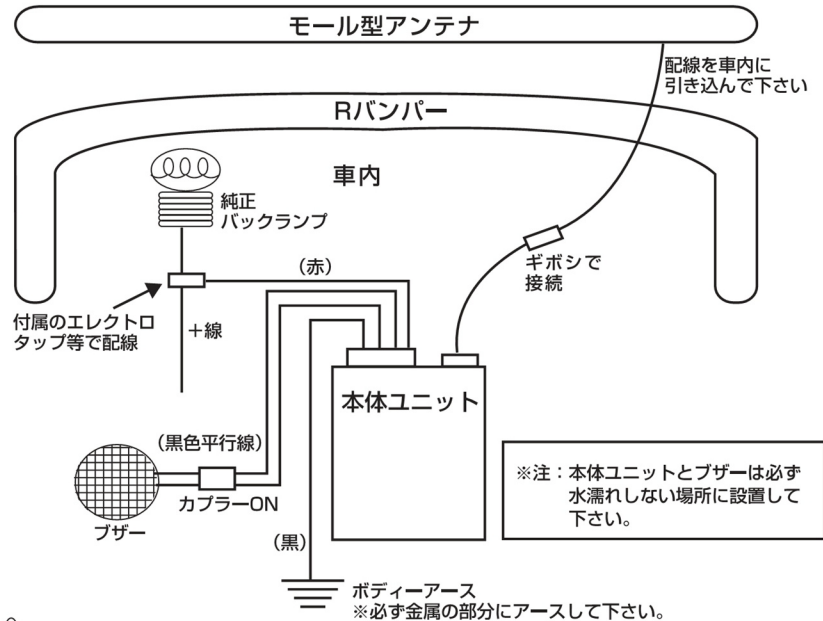


ダイヤグラム



⚠️ ご注意 ⚠️

- ご使用になる際は、お車の形状や実際の障害物の場所、アングル、形、材質等で誤差が生じます。取付けの際は様々な角度から障害物をテストして確認される事をお勧めします。
- 障害物への接近速度が速い場合は、1段階目の警告音がせず、最初に2段階目の警告音が鳴ることがあります。ご自身のバックする際の速度と警告音のタイミングを確認される事をお勧めします。
- 降雨時にはシステムが高感度のために誤警告音を発する場合があります。この場合は安全圏が自動的に狭くなりますが、システムはバンパーに近い障害物を探知します。バック時には常に十分な注意をして下さい。
- バンパーについた泥や雪は、誤作動につながりますので、必ずこまめに取り除いて下さい。
- 本製品はバックセンサーですので、フロントバンパーなどにセンサーとしてご使用になると、動作時間が長くなり、誤動作や製品寿命を縮める原因になりますのでご注意ください。
- アシストバックセンサーはバンパーに障害物が近づくのを警告音で素早く、明確なアラーム音で探知する事が出来ます。車両が障害物に近づいた時のみ警告音を出し、バンパーの前の固定物(牽引フックやCARBOXの側壁)には警告音を発しないので通常運転には支障をきたしません。
- この装置はドライビングサポートであり、安全装置では有りません。道交法上、目視での安全確認が必要です。又、当製品の使用においてのいかなる損害や障害に対して、一切の責任を負いかねます。
- 不適切、不完全な取付けや使用による所有物への損害や傷害に対して一切の責任を負いかねます。

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしています。取付に関しましてはこの説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

APR-2013

アシストバックセンサー(モールドタイプ) MODEL 46-0212M

取扱説明書



◀️ テクニカル特性 ▶️

使用電圧 : 11V~18Vにて作動  
最大消費電流 : 40mA

動作温度 : -25~70℃  
感知開始平均距離 : 50cm

動作原理

アシストバックセンサー(モールドタイプ)46-0212Mは電磁波を利用して障害物の接近を感知する画期的なパーキングセンサーです。(いわゆる絶縁体であるガラス、セラミック、プラスチックなどだけで構成されている乾燥した物質は対象外です。)この装置は、バックギヤを入れると作動し、OKのサイン(A)によって作動が確認できます。アシストバックセンサーが作動開始すると取付けられたバンパー周辺に感知距離範囲が発生します。障害物がバンパーに近づきセンサー感知距離内に入ると警告音を発します。

- A) バックギヤに入れた時点で全てのシステムのチェックは終了し、異常があった場合には高音、低音の2つの音が3~4秒間鳴って警告します。制御が正しければOKのサイン(早い3パターンの連続音)を発します。
- B) 障害物へ接近中はバンパーと障害物間(バンパー中心部より)約80cmから警告音を発し始め3段階の音で警告します。連続ブザー音でドライバーへ障害物の接近を知らせます。(プレアラーム)
1. 継続的な音で障害物がバンパーから30~60cmに近づいた事を知らせます。これはバンパー中心部からの数値でアンテナの端の方では鈍くなります。
  2. 1とは異なる低音の継続的な音は障害物がバンパーから近いところ(10~30cm)にある時、接触の危険がある事を警告します。
  3. 障害物がバンパーに最も近いところ(10cm以内)に近づくと連続音(ピー)を発し警告します。  
※車輛の動きが止まると暫くして警告音は止まり、再びバンパーに接近し始めますと引き続き警告音を発します。

取付け時のご注意

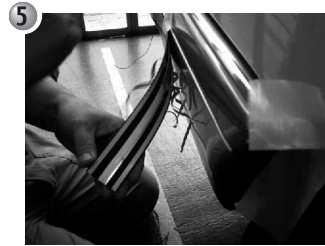
- センサー部のモールド型アンテナをバンパーに貼り付けます。
- 取付けはバンパーに貼ったセンサーが地面からより高く離れた、車輛ボディから最も離れた位置に取り付ける事が最も重要なポイントです。
- センサー部(モールド型アンテナ)は車体の金属部分から少なくとも3cm以上離れるようバンパー表面に設置した時、正確に動作します。
- ブザーを設置する際、ブザーを強く押しつけますと外のケースが変形したり、内部パーツを破損する恐れがあります。

モールの取付け

- ① モール型センサーを貼る位置を決め、マスキングテープ等で仮止めをします。
- ② モール型センサーのリード線を通す位置をマーキングします。
- ③ ②で決めた位置に付属の1.5mmドリル刃で穴を開けます。
- ④ モール型センサーを貼る場所をアルコール等で十分に脱脂します。
- ⑤ ③で開けた穴にリード線を通し、モール型センサーをバンパーに貼り付けます。
- ⑥ 余ったモールをカッター等で切ります。
- ⑦ コーナーモールをモール両端に貼ります。

配線

- ① リード線をトランクのウエザーストリップの間等から車内へ引き込みます。
- ② イグニッションキーをONの位置に回し、セレクターレバーをR(リバース)の位置に入れた状態で、テスターでバックランプ点灯線を見つけます。
- ③ 本体をバックランプの近くに取り付けます。
- ④ アンテナからのリード線を端子凸にニッパ等でかきめず。
- ⑤ 端子凸を端子凹に接続し、凹端子からのコードのジャックを本体へ接続します。
- ⑥ 4本コードの赤コードをバックランプの+線にコードクランプを使い、接続します。
- ⑦ 4本コードの黒コードをボディの金属部分にマイナスアースします。
- ⑧ 4本コードのジャックを本体に接続します。4本コードのブザー用コネクタとブザーのコネクタとを接続します。
- ⑨ ブザー本体を車内に両面テープで貼り付けます。



⑤ センサー線を車室内に引き込んだらモールセンサーを端から貼って行きます。



⑥ のリヤ部です。



⑦ 余分な線を切って端を合わせます。付属のエンドモールは任意でご使用下さい。



⑧ トランク内に本体を貼り付け設置します。



① モールセンサーをバンパー全体の長さに合わせながら仮止めします。



② 全体を仮止めした状態。



③ 合わせた時にセンサー線の位置を確認し、穴あけ位置をマーキングします。



④ モールセンサー線を車室内に引き込む為の穴を開けます。

動作テスト手順

車輛をバックで近づけていき、障害物の80cm付近から3段階の警告音が鳴れば正常に作動しています。車輛が停止した時、音は止まり、車輛が動き出すと再び警告音が鳴り出します。

※取付車種により、障害物までの距離が異なる場合があります。

トラブルと解決方法

1. 何の音も出ない場合は全ての接続を確認して下さい。
2. アラーム音(高低音の繰り返し)が3秒間続いた時は本体ユニットの黒の並行線とアンテナセンサー線の接続を確認して下さい。
3. 車をバックさせているつもりでバンパーの中心から1m位の距離からゆっくり車に歩み寄って下さい。50~60cm位の距離で最初の警告音が出始め、そのまま距離を詰めると20~30cm位の距離で連続音になります。